

清政

神道政治連盟京都府本部会報
平成15年6月28日発行(年2回発行)



皇后陛下御歌

この年も

蚕飼する日の

近づきて

桑おほし立つ

五月晴れのもと

愈の結束を

これがジェンダーフリーだ

緊急レポート 北朝鮮工作船公開始まる

シンポジウム 教育ってなに? 報告

事務局からの活動報告

憲法及び教育基本法改正に向けての研修会報告

34

「愈の結束を」



神道政治連盟京都府本部
本部長 田中 恆清

る。だが、拉致被害者家族が我国外交に突き付けた鋭い指摘は、五十有余年に亘って空想の平和に酔い痴れてきた国民の国防意識を目覚めさせ、更には家族愛や家族の絆のすばらしさを身を以って多くの国民に伝えていただいた。もしも、この家族の一貫した強い結束がなかったならば、我国外務省は例によって卑屈な謝罪外交を際限なく繰り返し続けたに違いない。

北朝鮮拉致事件が二十五年間の闇を破り国民の耳目に衝撃の事実を明らかにしてから早九ヶ月が過ぎた。この間、拉致被害者家族の方々は一致結束して北朝鮮に今尚拉致されている多くの同胞を始め、自身の家族の早期奪還を必死になつて訴えられ、想像を絶する独裁国家の現実は今や世界の人々の知るところとなった。

然るに我国外務省は、小泉首相訪朝によって白日の下に晒された国家犯罪に対し、当初は言を左右にして

親朝姿勢をとり続け、対話と援助による解決を主張し続けてきたのであ

正に拉致被害者家族こそ真の外交官と呼ぶに相応しい人達なのである。お陰でイラク問題等も含め、国民の生命財産を守るべき国家にとつてごく当り前の有事における法整備も不十分ながら俄に成立し、政府首脳や国会議員の中にも安倍官房副長官をはじめとして国家主権、国益護持の憂国の士が少なからず現れ、先頭になって論陣を張るなど、今や国民の国防意識はマスコミのアンケート調査に現れているように、飛躍的に高まりを見せていることは心強い限りである。

然しながらこの期に及んでも反日的政治家、学者、文化人等今だ我国

今という
③ 時
Reflect
the times

これが ジェンダーフリーだ

先日、思わずこれはジョークだ
ろうかと目を疑う記事が産経新聞
に掲載されていた。記事によると、
現在教育現場では、従来の男子が

先に来る名簿のあり方は「ジェン
ダーフリー」に反するとのことだ、
男女を混ぜて五十音の名簿を作っ
ているが、「日教組」はそれにも飽

きたらず、この「男女混合名簿」
の名称自体を「女男混合名簿」と言
い換えるよう提唱しているという。
もうここまで来るとただの言葉あ
そびである。この原稿を打ちなが
ら「じょだん」と入力しても全く違
う漢字に変換されてしまう。ばか
ばかしすぎて、全く理解不可能だ。

の歴史伝統文化を否定する事によつ
て“生業”を立てている連中は、戦
争は悪、平和は善とする単絡的思考
に相も変わらず埋没し、彼らの偽善
的聖域に閉じ籠っている。既に国民
の多くはそんなまやかしから覚醒し
ているのである。
靖國神社に代わる新たな追悼施設
建設問題、男女共同参画社会実現の
ための言うところのジェンダーフリ
ー問題、夫婦別氏制導入問題等反日
的集団や個人が形振りかまわぬ様々
な動きに加速度を増してきている。

今、我々神政連に結集する者愈力を
合わせ心を尽くして、混迷する世情
の立て直しのため引き続き国民運動
を積極的かつ効果的に展開していこ
うではありませんか。



入会受付中!!

神道政治連盟京都府本部では、新規会員を募集しています。
会員の皆さまも、身近な方々にご入会をお勧めください。

- ・正会員 一年会費2,000円(運営費を含む)
- ・有効会員 一年会費3,000円(運営費を含む)

詳しくは、神道政治連盟京都府本部事務局までお問い
合わせください。

電話 075-863-6677
FAX 075-863-6665
電子メール kyo-jin@mbox.kyoto-inet.or.jp



教育現場に浸透する ジェンダーフリー

今という時

「ジェンダー」とか「ジェンダーフリー」といった言葉が最近目につくようになり、ようやく人々の関心が向いてきたようだが、国や地方自治体、そして日教組を中心とした教育現場では、ずいぶん以前から導入が画策され、もう既に部分的には取り返しのつかないところまで来つつある。

この「ジェンダー」をあらためて解説するならば、歴史的・文化的な性の型、つまり男らしさ・女らしさのことで、本来こうした性差は、生まれながらのものとしていたが、近年これらは社会的・文化的、そして歴史的に作り出されたものとして、そういう考え方（性別特性論）をやめ、男女平等に扱おうとする動きを「ジェンダーフリー」と称している。これだけ聞けば、男女同権のこの時代当然だ、などと思えるが、具体的に例を挙げるとどうにも変である。「男らしさ、女らしさ」を強要、強調することがイケナイコトの象徴であるが、具体的に例を挙げれば、女の子を「さん」付け、男の子を

「男らしさ、女らしさ」はいけない!?

今という時

「くん」付けて呼ぶ、女の子に赤いランドセルを持たせたり「おとなしいよい子」「愛嬌のあるかわい子」などとほめる。男の子にグロップやミニカーをプレゼントしたり、「たくましい元気な子」「カッコいい」などとほめる。「女にしては」

「女だてら」「男まさり」などの言葉を使う。また、妻を「奥さん」、夫を「主人」と呼ぶ。女社長、女医などのように女々と付ける。日本古来の伝統行事である、ひな祭りも、端午の節句ももちろんダメ。挙げ句の果てには、男らしい名前（例えば猛、勝、勇など）、女らしい名前（美、優、子が付く名）を付けるコトもイケナイ!と言った有様で、とてもこの紙面では書き尽くせないほど。つまり日本男児、大和撫子はもちろん、男だから、女だからは一切タブー、ということだ。さらにこの運動では家族の定義にも言及しており、「家族」の定義は一つではなくそれも決して血縁によるものではない。「ふつうの家族」「当たり前前の親子」は思い

こみに過ぎず、「家族」のメンバーを誰に決めるかはその本人の判断だ」としている。我々の祖先が嘗々と築き上げた誇りある国家の、その最小単位である「家族」を、こどもも含めた一人ひとりが自由に選ぶべきだ、というそら恐ろしい思想が、今まさに、あろう事か行政や教師の手によって「男女共同参画」という名の下に、堂々とそして着実に進められているのである。

恐るべき ジェンダーフリーの正体

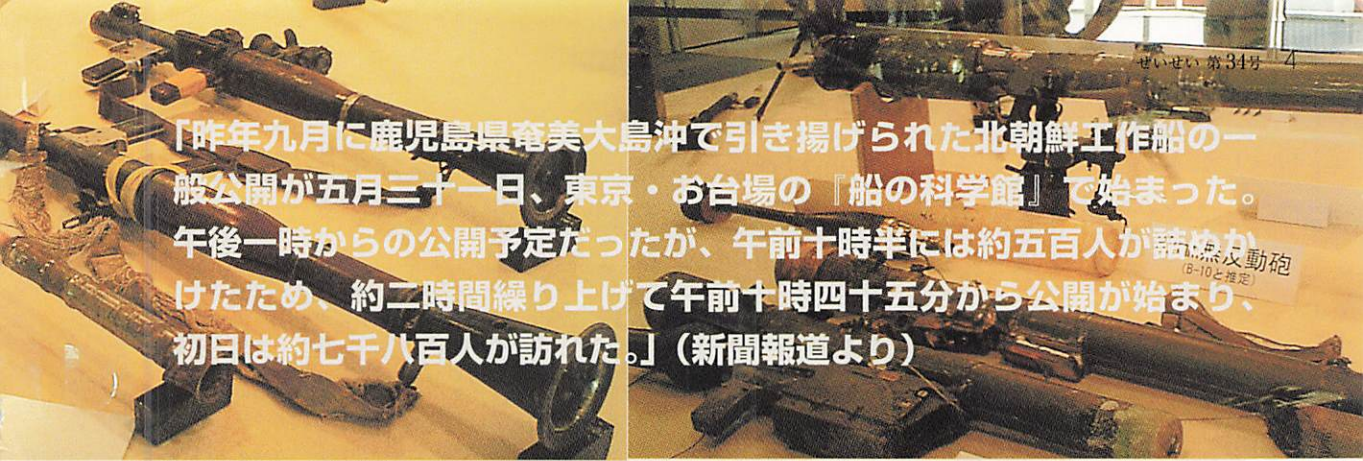
今という時

このジェンダーフリー思想は、共産主義信奉者によって支持・推進されていることは間違いない。この問題に詳しい中川八洋氏は「これがジェンダーフリーの正体だ」の中でこう語る。「日本の共産主義者たちは、マルクスレーニン主義による暴力革命を目指したが、かのソ連崩壊により頓挫、代わりにこの『ジェンダーフリー』によって、学校教育などを通じて一気に人間改造を行い、我が国の『家族の解体』『性別秩序の解体』をもくろみ、ついには『日本社会全体の解体』を目指している。ま

さに超過激革命運動だ」と。確かに共産主義者の言う「主婦絶滅」は、男女共同参画の提唱する、夫婦、家族の概念に一致する。

少子化の問題も、夫婦別姓も、性の乱れも、昨今の父親の権威喪失も、どれもこれも間違いなく同源同根の問題である。このままでは今後日本人は、限りなく中性化していくのである。彼らは、性同一性障害者がいわば理想の人間と思っているのである。そう言えば、最近やたらとオカマがもてはやされているのではないか。

今この問題を看過すれば、この恐ろしい思想はどんどん子どもたちの脳に刷り込まれていく。あとから幾ら修正しようとしても、恰も現在の広島長崎平和教育のような常識と化してしまうだろう。女性には結婚せず、子供も産まず、男性は働かず、家族はバラバラ、社会のためにつくそうなんてことも考えない。こうして人格は破壊され、社会は混乱し、日本という国はやがて間違いなく破滅への道を辿ることになるだろう。何としても絶対阻止の国民的気運を高めていかねばならない。(堀川博史)



「昨年九月に鹿児島県奄美大島沖で引き揚げられた北朝鮮工作船の一般公開が五月三十一日、東京・お台場の『船の科学館』で始まった。午後一時からの公開予定だったが、午前十時半には約五百人が詰めかけたため、約二時間繰り上げて午前十時四十五分から公開が始まり、初日は約七千八百人が訪れた。」(新聞報道より)

引き揚げられた武器は、まさに戦時下そのもの

公開から間もない六月の三日、お台場「船の科学館」に赴きました。平日であるにも拘らず多くの来館者が列をなして見学している様子からは、人々のこの問題に対する関心の深さが窺えました。お台場という場所柄からか、東京観光の一端として訪れる団体や、修学旅行のグループ活動中の高校生達、小さな子供を連れた若い夫婦やデート中のカップルの姿なども多く見受けられました。
目的意識の希薄な人達は列の後方では大変賑やかで、眉をひそめなくなることもありました。列が進み工作船

工作船、言葉奪つ
恐ろしき姿

緊急レポート 北朝鮮工作船 公開始まる

の船体が大きく視野に入ってくると、その異様で恐ろしい姿に誰もが言葉を失い、一様に無言の状態になってゆきます。

足を運ぶきっかけは何であれ、その引き揚げられた工作船の持つ非日常的な影が、多くの日本人に自己の危機意識の低さを否応無しに感じさせるのでしよう。



船内から発見された大量の武器

COLUMN

御歌を拝して。

この年も蚕飼する口の近づききて
桑おほし立つ五月晴れのもと

皇后陛下が「五月晴れ」の歌題で、平成八年にお詠みになった御歌です。御歌のように、皇后様は、毎年大切に蚕をお育てになつていらっしゃいます。「約」一か月にわたる紅葉山での養蚕も、私の生活の中で大切な部分を占めています。・ ・ ・ 小石丸という小粒の繭が、正倉院の古代布の復元に最もふさわしい現在の生糸とされ、御物の復元に役立てていただいていることを嬉しく思っています。とも述べられています(平成十一年十月二十日)。昨春、京都の青年神職が皇居の勤労奉仕に伺いました。御会釈を賜った折に質問をお許しいたさき、先の小石丸についてお尋ねしますと、皇后様はお言葉を慎重に選ばれ、「このように申し上げて宜しいですか」と天皇様のお顔をご覧になって、お思い違いが無いかをお確かめになりながら丁寧にお答えくださいました。そしてまた優しく頷かれる。天皇様のお姿に、洵に畏れ多い事ながら、理想の夫婦の在り方を拝見したよつでありました。
天皇陛下の和歌を御製(ぎよせい)、おほみつた、皇后陛下の和歌を御歌(みづた)と申し上げます。(羽)



我々に突き付けられた大量の武器
 国籍偽装・上陸用装備品の数々
 繰り返される凶行の証拠

**戦慄！日本を狙う武器と
 装備品**

激しい銃撃戦の痕跡を示す穴だらけの船体、小型船を格納するために居住空間が極限まで削られたと思われる、息の詰まるような船内の様子、自爆自沈を図ったと目される操舵室近辺の惨状等々。第一会場で工作船そのものを

格納されていた小型船と工作船



工作船に残された銃撃の跡

見学した後第二会場へ足を運ぶと、ロケットランチャーや機関銃などの武器類、上陸用のゴムボートや水中スクーター・潜水服を始め、国籍を偽装するための船装品や無線機類など約九十点の引き揚げ品が展示されています。

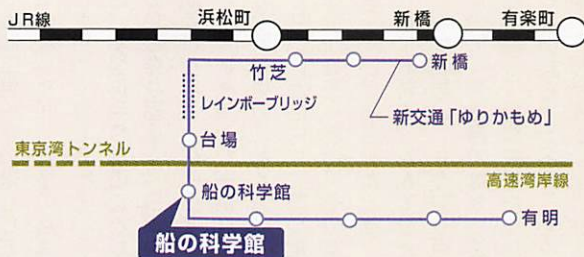
任務遂行のためには己が死も辞さない工作員達がこれらの品々を使い、我が祖国に対し何を為さんとしていたのでしょうか。それらの風化していない生々しい傷跡が訴えるのは、正に目を覆いたくなる凄まじい凶行に他なりません。しかし今、我々はそれを直視しなければならぬのです。

九月三十日までという短い期間に、一人でも多くの見学者がその場に赴かれんことを願って止みません。

(吉田武雄)



工作船に装備されていた機関砲



新橋駅より新交通「ゆりかもめ」(16分) 船の科学館駅下車
 〒135-8587
 東京都品川区東八潮3-1TEL: 03(5500)1111
<http://www.funenokagakukan.or.jp/>

平日は午前十時から午後五時まで、週末と祝日は午後六時まで。公開期間中は無料で、入場無料。お問い合わせは「船の科学館」まで

COLUMN

用途指定寄付？

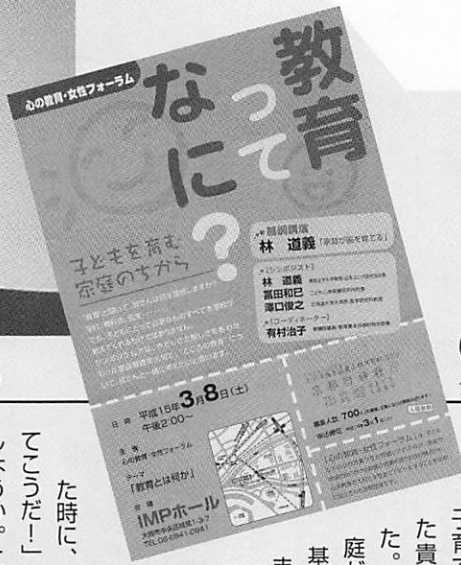
費銭箱に「鎮守の森保存用初穂料」「植樹用初穂料」と書かれた二つの熨斗袋がありました。これはお費銭というより用途指定寄付金？そういえば、皆様へのお供えがお米から初穂料になりました。お鏡さんもお野菜も少なくなり、熨斗袋に取って代わりました。料でお供え頂くのはありがたいです。だからこそ、氏子崇敬者の願いを真摯に受け止める神社運営が求められます。宗教学法改正の原点もここにあったはず。

情報公開と説明責任。これは医療や福祉の現場だけでなく、宗教法人としての質の高い公共性が求められる神社も同じです。また同様に、政治家には選挙公約を実現する具体案の提示と実行が求められています。そういう意味では、小泉内閣の「骨太の方針」はもう少し評価されてもよいと思いますし、その中味について、私たちはもっとよく知る権利があります。一部マスメディアの報道姿勢を問いたいものです。

(樹)



林道義先生
(東京女子大学教授)



あーうーたーネー!
ジャー今度!



Report
シンポジウム 教育ってなに?

脳が発達するとは、 人格が発達すること

平成十五年三月八日、大阪IMPホールで心の教育・女性フォーラムが主催し、シンポジウム「教育ってなに？」が開催されました。シンポジストに林道義氏（東京女子大学教授）と富田和巳氏（大阪総合医学・教育研究会副理事長）を、コーディネーターに有村治子氏（参議院議員／教育基本法検討特命委員会委員）を迎え、自分の子育てを振り返ることができた貴重なシンポジウムでした。まず、林先生より「家庭が脳を育てる」と題して基調講演があり、これを踏まえてのシンポジウムには、コーディネーターの有村先生も参加され三人で開催されました。今の日本で「教育ってなに？」と問われた時に、どれだけの人が「教育ってこうだ！」と答えることができるでしょうか。このシンポジウムで私は、自分のしてきた子育ての良かった事、悪かった事を見つけることができ、自分なりの教育って大方間違いはなかったのだと感じ、少し嬉しくなりました。「ジェンダーフリー」という言葉

を最近耳にしますが、これは男女の区

別を無くそうという和製英語とのこと。林先生は、このジェンダーフリーで教育すると脳は発達しないし、発達というのは勉強ができるようになるというのではなく、脳が発達するとは人格が発達するということなので、いかに家庭で脳の能力を育むことが大切であるかと教えていただきました。

母性を持って育てる

私は二男一女の母として子育てをしてきましたが、先生の言葉の中の「母性を持って育てる」という基本的なこと、本当に当り前のことができていたのかと振り返ると、日頃の生活の中で起る様々なことにイライラして、歴史した人格を持った子供なのに、つい自分の所有物のごとく思い、いつもは怒らないことに対して怒ったりして子供を泣かせてしまい、そのまま寝入った我子に涙の跡を見たとき、母親であることに気が付き、なんてひどいことをしたのかと思い、もう取り返しがつかないのに、頬を撫でながら泣いたことを思い出し、母親失格だったなあと落胆していたら、「反省」するということ、子供を慈しむ心、即ち母性があるということなので失敗しても落ちこまなくて良いとの発言を聞きほっとしました。

目と目を会わせて会話を

長男が小学校の頃、年上の友人に、「子供にとったら母親はひとりだけで、母親からしたら三人なのだから一対一の時間を作ることが大切よ。」と教えられ、子供が「お母さん」と言ったとき、しんどい時や忙がしい時はつい「あとでネー」と言っていたのですが、五分でも時間を作ることにして聞いてあげたことは本当に良かったと思っています。家庭での教育の中で、人間として持っていなければいけない「人を感じる心」は、小さい時から親が大切に育てることによって親の気持ちや伝わるので、子も親を思う心が育ち、「人を感じる心」が育つのだと思います。大人の世界では、「ジャー今度！」を社交辞令として使いますが、子供は、「あとでネー」と言われたら、いつまでも待っています。そのままそこに置きざりにせず、「あとでネー」の後はしっかりと向かい合い聞いてあげたいものです。だから、私の思う教育とは、「あとでネー」と言い流さず、ひとりの人間として人格を育てあげるためにも、目と目を会わせ話をするというごく当り前のことではないかと思えます。そのためにも基本となる「夫婦の会話」も決して忘れてはいけないことだと思つので、「ジャー今度！」と流さないことがナ・・・?!(花房昭子)

12月 師走

平成14年

- 16日(月) ・中央本部四役会 田中央本部幹事長出席(於 神社本庁)
- 20日(金) ・京都の躰を語る会例会開催(於 町家写真館)
- 23日(月) ・天長節奉祝日本会議・京都式典 田中本部長以下関係者出席(於 平安神宮)
- ・日本会議・京都運営委員会・忘年懇親会 田中本部長以下関係者出席(於 平安神宮他)

- 24日(月) ・神政連時局対策連絡会議 田中央本部幹事長、吉田幹事長、堀川事務局長出席(於 神社本庁)
- 25日(火) ・京都府神社総代会上支部総会 市原副本部長出席(於 繁なり)

4月 卯月

- 3月〜4月 8日(火) ・統一地方選挙候補者推薦
- ・中央本部四役会・選挙対策委員会 田中央本部幹事長出席(於 神社本庁)
- ・英霊にこたえる会京都府本部運営委員会 堀川事務局長出席(於 京都府福祉会館)
- 9日(水) ・中央本部表彰審査会・役員会 田中央本部幹事長出席(於 神社本庁)
- 14日(月) ・統一地方選挙当選者に祝電発信
- 25日(金) ・京都府本部教育正常化キャンペーンコンサート企画会議開催(於 京都府社会館)
- 30日(水) ・日本会議・京都研修会 田中本部長以下関係者出席(於 平安神宮)

1月 睦月

平成15年

- 11日(土) ・中央本部会計監査 田中央本部幹事長出席(於 神社本庁)
- 17日(金) ・京都府神社庁関係団体助成金交付式 文室財務委員長出席(於 京都府社会館)
- 25日(土) ・京都市会議員北川あきらを励ます総会 祝電発信
- 27日(月) ・中央本部靖国神社参拝 田中央本部幹事長参列(於 靖国神社)
- 28日(火) ・中央本部監査会 田中央本部幹事長出席(於 神社本庁)
- 29日(水) ・中央本部役員会 田中央本部幹事長出席(於 神社本庁)

5月 皐月

- 9日(金) ・京都の躰を語る女性の例会を開催(於 錦天満宮他)
- 10日(土) ・京都府本部財務委員会開催(於 京都府社会館)
- ・洛東支部神社総代会総会 田中本部長出席(於 魚善)
- 16日(金) ・靖国大阪訴訟第6回口頭弁論傍聴券獲得活動及び報告会 林副本部長以下5名参加(於 大阪地方裁判所及び大阪府神社庁)
- ・日本会議・京都研修会 林副本部長以下関係者出席(於 ばるるプラザ京都)
- 17日(土) ・京都府本部綱紀委員会及び役員会開催(於 京都府社会館)
- 24日(土) ・英霊にこたえる会京都府本部慰霊祭及び総会 堀川事務局長出席(於 京都霊山護国神社歴史館)
- 30日(金) ・憲法及び教育基本法改正に向けた研修会開催 田中本部長以下88名参加(於 京都府社会館)

2月 如月

- 11日(火) ・日本会議・京都北部支部設立大会 田中本部長以下関係者出席(於 綾部市ITビル)
- 13日(木) ・神政連静岡県本部議員連盟懇談会 田中央本部幹事長出席(於 ホテルアソシア静岡)
- 13日(木) ・お伊勢さん初参り 田中本部長以下関係者参加
- 17日(月) ・靖国大阪訴訟第5回口頭弁論傍聴券獲得活動及び報告会 林副本部長以下4名参加(於 大阪地方裁判所及び大阪府神社庁)
- 18日(火) ・京都府神社庁祈年祭 田中本部長参列(於 京都府社会館)
- 19日(水) ・京都府本部三役会開催(於 京都府社会館)

3月 弥生

- 1日(土) ・自由民主党京都府支部連合会 堀川事務局長出席(於 京都テルサ)
- 8日(土) ・心の教育・女性フォーラム「教育ってなに？」シンポジウム 田中本部長以下関係者出席(於 大阪IMPホール)
- 10日(月) ・京都の躰を語る女性の会事務局会議開催(於 北野天満宮)
- ・京都府本部教育正常化キャンペーンコンサート打合せ会開催(於 京都センチュリーホテル)
- 11日(火) ・京都府本部役員会開催(於 京都府社会館)
- 15日(土) ・皇太子同妃両殿下御奉迎 田中本部長出席(於 京都御所)
- ・日本会議・京都運営委員会 田中本部長以下関係者出席(於 護王神社)
- 17日(月) ・神政連中央本部四役会・政策委員会 田中央本部幹事長出席(於 神社本庁)

6月 水無月

- 3日(火) ・中央本部三役会、役員会、本部長会 田中央本部幹事長出席(於 神社本庁)
- 4日(水) ・中央本部中央委員会 田中本部長以下中央委員出席(於 神社本庁)
- ・中央本部事務局長会議 田中央本部幹事長、堀川事務局長出席(於 神社本庁)
- 14日(土) ・船井支部神社総代会総会 林副本部長出席(於 和知町ふれあいセンター)
- 18日(水) ・中央本部と靖国神社との連絡会 田中央本部幹事長出席(於 都内)
- 28日(土) ・京都府本部代議員会開催(於 京都府社会館)
- ・京都府本部第17回会員大会開催(於 京都府社会館)
- ・清政第34号発行

心に響く
やさしい調べへ

コンサートのお知らせ

子どもの心は大人の心を写す鏡です。子どもたちの心の荒廃と向き合う時、私たち大人の心の豊かさが問われます。第一部では、幻の童謡詩人と称され、今、関心が高まっている金子みすゞの詩歌を、ソプラノ歌手山澤直子がピアノの音色にのせて朗読します。

第二部は、男性ユニット、マリオネットによる、哀愁に満ちたポルトガルギターとマンドリンのステージです。やさしい調べに耳を傾けませんか。

日時 平成十五年七月十三日(日)

第一回公演 午後一時半〜

第二回公演 午後五時〜

会場 京都文化博物館別館ホール
(地下鉄烏丸御池駅下車、徒歩三分)

入場料 二五〇〇円(一回公演)

主催 京都の躰を語る女性の会

www.net.ko.jp/stuke

チケットのご予約・お問い合わせは

KBBS 京都ブレイガイド

電話〇七五(四三二) 八三〇〇まで



金子みすゞ

編集室だより

● 神道政治連盟-いかめし名前前の団体ですが、日本人が守り伝えてきた精神を大切に政治が行われるように呼びかける、国民運動を展開しています。

毅然とした外交を望む声は日増しに高くなっていますが、日本の良さを壊しかねない法案や答申が提出されようとしています。私達は日本の将来を思い、日本らしさを守るべくPR活動をしたり、日本を大切にす議員を応援しています。

● 新規ご入会受付中 ●

神道政治連盟京都府本部では、新規会員を募集しています。会員の皆さまも、身近な方々にご入会をお勧めください。

- ・正会員 / 年会費2,000円
 - ・有効会員 / 年会費3,000円
- (いずれも運営費を含む)

詳しくは、神道政治連盟京都府本部事務局までお問い合わせください。

電話/075-863-6677
 FAX/電子メールは、下記編集室と同じ

● ご意見ご感想をお待ちしています。

投稿はご氏名ご連絡先を明記の上、FAXか電子メールでお願いします。

宛先/神道政治連盟京都府本部
 「清政」編集室
 ファックス/075-863-6665
 電子メール/
 kyo-jin@mbx.kyoto-inet.or.jp



このロゴマークは、わたくしたちの会名である「神道政治連盟」の英訳の頭文字SAS (Shinto Association of Spiritual Leadership) と日本古来の装飾品である勾玉(マガタマ)をデザイン化したものです。

清政 第34号

発行日 平成15年6月28日(土)
 発行所 神道政治連盟京都府本部
 〒616-0022 京都市西京区
 嵐山朝月町68-8

電話 075-863-6677

リニューアルした神政連ホームページをぜひご覧ください。
<http://www.sinseiren.org>

編集協力 (株)ハルプロモーション

神政連京都府本部は去る五月三十日、京都府神社会館にて「憲法及び教育基本法改正に向けての研修会」を昨年に引き続いて開催、八十八名の参加を得た。

午前中、まず「教育基本法の改正について」をテーマに皇學館大学の新田均助教授に、次に「これでいいのか！日本国憲法」と題して日本政策研究センターの伊藤哲夫所長に講義していただいた。そして、午後からは分科会を開催し、問題点に関する理解を深めた。



憲法及び教育基本法
 改正に向けての研修会開催

教育基本法の改正について

新田先生は、「教育基本法は、教育勅語を補うべく制定されたもので、本来

相互補完の関係にあったのだが、制定後の昭和二十三年六月十九日、GHQの圧力で衆参両院の決議によって教育勅語が否定され、「教育勅語を否定して教育基本法が制定された」というような誤った解釈が定着することになった。」

「平成十五年三月に中教審の答申が出されたが、『日本の伝統・文化の尊重』の中の『伝統』が、『伝統芸能』といった意味にすりかえられてしまわな

いかなどを我々が常に監視しなければならぬ。」と語られ、また吉田幹事長を座長とした分科会の中で先生は、「情報公開のシステムを積極的に活用して、教育現場に問題点が無いか注視し、地域と摩擦が生じようとも、



また吉田幹事長を座長とした分科会の中で先生は、

「情報公開のシステムを積極的に活用して、教育現場に問題点が無いか注視し、地域と摩擦が生じようとも、

問題点について教育委員会や議員に報告をして行くといった覚悟が必要である。」と我々に訴えかけられた。



これでいいのか！
 日本国憲法

伊藤先生は、講演の冒頭、「現憲法は余りにも問題が多すぎるので、時間的制

約上今日はその中のいくつか絞って話をします。」として凡そ三つの問題点について講義をいただいた。まず、前文について、憲法制定の経緯を説明された上で「本来前文に記すべき事柄はその国の歴史や誇りなどであるにもかかわらず、我が国の憲法は自国の歴史を否定しゴメンナサイから始まっている。」と指摘された。また、第一章の天皇条項については、天皇は国家元首であると明記すべきこと、天皇の国事行為として祭祀規定を盛り込むべきことなどをお話いただいた。

更に第九条については、現行法のまま有事に陥った場合何が起こるのか、自衛隊の立場をも踏まえてわかりやすく解説していただいた。そして、林副本部長を座長とした午後からの分科会では、まず午前中の講義の補足として伊藤先生に「人権問題」に関し十分ほどお話を頂戴した。その後、質問用紙によって回収した参加者の質問や意見に対し、伊藤先生にコメントをいただく形で分科会が進行された。質問は、「軍隊は天皇が統率すべきだ」、「信教の自由と公式参拝について」、「憲法の前文は何に対して誓うべきか」など多岐にわたり、そのつど伊藤先生に懇切丁寧に解説していただいた。

憲法も教育基本法も、国の最も重要な基本的な法であるが、日常生活に馴染みが薄いため、一般的には他の法律に比べて認識不足の感が強いのではないだろうか。しかし、本研修によって現行法の理解と、改正へ向けての論点が一層明確になったと思う。